
愛してる

那音

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

愛してる

【コード】

N0130R

【作者名】

那音

【あらすじ】

おれはきみのことが好きだ。

(前書き)

どうぞ。

すとおみみずみです。

よろしくお願ひします。

言っちゃいけないと思った。そんなこと言ったら、この関係がおわってしまいそうで。

それに、そんなことはをかるがるしく言えるほど、おれもきみも大人じゃないし。

でも、口には出さないけど、いつも思ってるんだよ。愛してる。使い方が間違ってるかもしれないけど、それでもおれはきみを愛してる。

いつもやさしくて、笑顔がかわいくて、そんなきみが大好きだ。うまく言えないけど、きみがおれの心から出ていってくれない。はなれてくれない。これがどういうことなのかわからないけど、たぶんおれは、きみが好きなんだと思う。

イメージの中のきみはいつも笑っている。きれいな笑顔をしている。だけど、現実のきみは、ほんとのきみはそういうわけじゃないんだね。いつもかなしそうな顔をしているね。そんな顔をされると、こっちまでかなしくなっちゃう。

おれのことののしって、おれのことブンなぐって笑顔になるならそれでもいいから、笑顔を見せて。

きみのことを考えると、むねがきゅくつになって、いきが苦しくなつて、あたまの中がまっ白になる。

考えると苦しいけど、考えてないともつと苦しい。だからきみのことを考える。苦しくて、辛くて、いたい。好きだって伝えたら、愛してるって伝えたら、楽になるのかな。

5年生になったら、好きだって言おう。また同じクラスだといいいけ。

(後書き)

読んでくださってありがとうございます。

この話は”言葉になんかしなくても”に続きます。

ひらがなばかりで申し訳ありませんでした。テンポも悪かったし、読みにくいですね。しかし、小学4年生という設定ですので、漢字はあまり知らないかなど。

まあ、それにしてもやり過ぎました。

感想、アドバイス等お待ちしております。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0130r/>

愛してる

2011年10月8日17時33分発行